



2024年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月12日

上場会社名 マニー株式会社
コード番号 7730 URL <https://www.mani.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 齊藤 雅彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役副社長 (氏名) 高橋 一夫
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 028-667-1811

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の連結業績(2023年9月1日～2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	7,114	16.5	2,223	27.1	2,349	35.4	1,573	21.1
2023年8月期第1四半期	6,105	29.1	1,748	2.1	1,736	9.2	1,299	1.8

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 1,735百万円 (28.7%) 2023年8月期第1四半期 1,348百万円 (23.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	15.98	
2023年8月期第1四半期	13.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	54,749	49,494	90.4
2023年8月期	54,977	49,827	90.6

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 49,494百万円 2023年8月期 49,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期		14.00		21.00	35.00
2024年8月期					
2024年8月期(予想)		16.00		23.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年 8月期の連結業績予想(2023年 9月 1日～2024年 8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,350	11.0	4,050	17.3	4,050	15.3	2,900	13.1	29.44
通期	27,500	12.3	8,250	13.9	8,250	3.2	5,900	0.9	59.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 無

修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年8月期1Q	106,981,502 株	2023年8月期	106,981,502 株
2024年8月期1Q	8,484,536 株	2023年8月期	8,484,510 株
2024年8月期1Q	98,496,979 株	2023年8月期1Q	98,426,532 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年9月1日～2023年11月30日）においては、中国の不動産市場の停滞に伴う景気減速懸念の高まりや、ロシア・ウクライナ問題の長期化及びイスラエル・ハマス紛争による国際情勢の不安定化といった地政学リスクの上昇に加え、欧米諸国における政策金利の高止まりの兆候や外国為替市場において円高への動きが見られるなど、世界経済全体として不確実性が高い状況が継続しております。

このような環境下、当社グループは、「世界一の品質を世界のすみずみへ」という使命を掲げ、当社グループの製品を世界中に提供し、世界の人々の幸福に貢献することを目指しております。当社グループの更なる成長に向けて、2022年8月期より中期経営計画をスタートし、営業・生産・開発の各機能のグローバル化を進めることでビジネスモデルの変革を行い、企業理念実現のための取り組みを着実に進めております。

中期経営計画の重要施策の観点では、グローバル生産体制の構築を目的として、ドイツの連結子会社MANI MEDICAL GERMANY GmbH（以下、MMG）では2023年9月に新本社・工場に移転し、生産活動を開始しました。MMGは今後、歯科用修復材¹の生産能力の増強を図り、欧米及びアジアにおける販売拡大を推進してまいります。また、国内では2023年10月よりスマートファクトリーの建設を開始いたしました。今回建設するスマートファクトリーは、新製品及び新生産プロセスの量産化技術の確立とその後の海外展開を見据えた最初の「パイロット工場」として位置付けており、製品の原価低減を図りながらグローバルでの売上拡大を目指しております。特に、重点開発製品であるNiTiロータリーファイル「JIZAI」²や白内障手術に用いられる眼科ナイフの量産を想定した準備を進めております³。さらに、既存のベトナム工場を増設し、生産能力増強とBCP強化を図ります。グローバルマーケティングの推進の観点では、デンタル関連製品の更なる市場シェア及び売上拡大のため、2023年9月より新たな組織として「デンタル事業本部」を設置し活動を開始しました。デンタル関連製品セグメントの競争力強化及びマーケティング機能強化を2024年8月期の重要課題として設定しております。また、新たな拠点としてマレーシアに設立した販売子会社 MANI MEDICAL DEVICE MALAYSIA SDN. BHD. は2023年11月に本格稼働に向けた準備が整いました。今後東南アジア地域の新興国をターゲットにデンタル関連製品やサージカル関連製品の積極的な販売・マーケティング活動を展開してまいります。

今後も中期経営計画に基づく成長戦略により、企業価値の向上を目指してまいります。

（脚注）

¹歯の欠損した部分を人工物で埋めることにより歯の形態を回復し、機能性及び審美性を高める治療（歯冠修復治療、審美歯科治療）に使用される樹脂材料

²歯の歯髄と呼ばれる神経の治療法の1つである根管治療において、根管内の感染源除去に用いられる柔軟性の高いニッケルチタン製の歯科治療機器

³スマートファクトリーへの総投資額は105億円を予定（内訳：工場建設費用84億円、「JIZAI」量産ラインへの投資額11億円、眼科ナイフ量産ラインへの投資額10億円）

当第1四半期連結累計期間における経営成績

主にアジア、北米、国内や欧州を中心とした地域で販売が増加した他、円安による海外売上高の押し上げも加わったことを背景に、売上高は7,114百万円（前年同期比16.5%増）と好調に推移しました。一方、海外子会社における製造原価の上昇等により売上原価は2,667百万円（同8.6%増）、マーケティング活動の強化に伴う販促費の増加及び本社における人件費の増加により販売費及び一般管理費は2,224百万円（同17.0%増）となりましたが、売上高の拡大や売上原価率の改善も寄与し、営業利益は2,223百万円（同27.1%増）となりました。営業利益の大幅な増益及び為替差益の計上に伴い、経常利益は2,349百万円（同35.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,573百万円（同21.1%増）となり、前年同期から増益幅が拡大いたしました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりです。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

	売上高		セグメント利益（営業利益）	
	百万円	前年同期比(%)	百万円	前年同期比(%)
サージカル関連製品	1,945	18.8	651	36.7
アイレス針関連製品	2,520	21.1	966	62.5
デンタル関連製品	2,648	11.0	605	△10.6
連結	7,114	16.5	2,223	27.1

（サージカル関連製品）

サージカル関連製品の売上高は1,945百万円（前年同期比18.8%増）、セグメント利益は651百万円（同36.7%増）となりました。品質評価の高い眼科ナイフの需要が中国を中心としたアジア、国内、欧州や北米等の地域で拡大したことにより、前年同期から増収増益となりました。

（アイレス針関連製品）

アイレス針関連製品の売上高は2,520百万円（前年同期比21.1%増）、セグメント利益は966百万円（同62.5%増）となりました。製品需要の拡大を背景として、アイレス針の受注が中国を中心としたアジア、北米並びに欧州において前年度より引き続き増加したことにより、大幅な増収増益となりました。

（デンタル関連製品）

デンタル関連製品の売上高は2,648百万円（前年同期比11.0%増）、セグメント利益は605百万円（同10.6%減）となりました。中国、タイ、インドを中心としたアジア地域における歯科用根管治療機器（リーマ・ファイル類）及び歯科用回転切削機器（ダイヤモンド）等の販売が好調であった一方、ドイツの連結子会社MMGにおける新本社・工場の立ち上げにより生じた生産遅延により、歯科用修復材を中心とするMMG製品の販売は低調に推移しました。他方、売上原価の増加や積極的なマーケティング活動の実施に伴う販売費及び一般管理費の増加により、セグメント利益は減益となりました。

補足：セグメント利益の算出方法の変更

当社グループは、当第1四半期連結累計期間の期首よりセグメント利益の算出方法を変更しております。変更の理由及び影響額については下記のとおりです。

変更の理由

デンタル関連製品の更なる市場シェア及び売上拡大を2024年8月期の重点施策として掲げており、2023年9月に新たな組織として「デンタル事業本部」を設置し活動を開始しました。これに伴い、デンタル関連製品セグメントで多くの販売費及び一般管理費の負担が発生する実態をより適切に各セグメントの業績に反映する必要が生じたため、セグメント利益の算出方法（セグメント別の販売費及び一般管理費の計算方法）を新たに変更するものです。

セグメント利益への影響額

（単位：百万円）

	A	B	C	C-A	B-A
	前第1四半期 連結累計期間 (変更前)	前第1四半期 連結累計期間 (変更後)	当第1四半期 連結累計期間 (変更後)	増減額	うち、 影響額
サージカル関連製品 セグメント利益 (うち、販売費及び 一般管理費)	476 (515)	453 (538)	651 (644)	174 (129)	△23 (23)
アイレス針関連製品 セグメント利益 (うち、販売費及び 一般管理費)	595 (599)	665 (529)	966 (594)	371 (△4)	70 (△70)
デンタル関連製品 セグメント利益 (うち、販売費及び 一般管理費)	677 (785)	630 (833)	605 (984)	△72 (198)	△47 (47)
セグメント利益合計 (うち、販売費及び 一般管理費合計)	1,748 (1,901)	1,748 (1,901)	2,223 (2,224)	474 (323)	- (-)

（２）財政状態に関する説明

（単位：百万円）

	前連結会計年度末 (2023年 8 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間末 (2023年11月30日)	増減額
総資産	54,977	54,749	△227
流動資産	34,994	31,942	△3,051
固定資産	19,982	22,806	2,823
負債	5,149	5,254	105
純資産	49,827	49,494	△332

当第 1 四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ227百万円減少し、54,749百万円となりました。これは主に、流動資産3,051百万円の減少（主に設備投資や配当に伴う現金及び預金の減少）及び固定資産2,823百万円の増加（主に当第 1 四半期連結会計期間に実施したスマートファクトリー関連投資2,668百万円）によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ105百万円増加し、5,254百万円となりました。これは主に、預り金（主に配当源泉税に係る預り金）等のその他流動負債が増加したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ332百万円減少し、49,494百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,573百万円を計上した一方、配当金2,068百万円の支払いにより利益剰余金が減少したこと等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第 1 四半期連結累計期間の業績につきましては、「（１）経営成績に関する説明」のとおりです。通期の連結業績予想につきましては、2023年10月12日の「2023年 8 月期 決算短信」で公表いたしました数値に現時点で変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,427	22,492
受取手形	262	206
売掛金	2,073	2,174
商品及び製品	796	705
仕掛品	3,430	3,350
原材料及び貯蔵品	2,193	2,327
その他	823	698
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	34,994	31,942
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,393	7,173
機械装置及び運搬具（純額）	4,370	4,294
土地	4,424	4,430
その他（純額）	4,264	4,572
有形固定資産合計	17,453	20,470
無形固定資産		
ソフトウェア	707	685
その他	535	564
無形固定資産合計	1,243	1,249
投資その他の資産		
投資有価証券	332	330
繰延税金資産	631	419
保険積立金	194	194
その他	127	141
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,285	1,086
固定資産合計	19,982	22,806
資産合計	54,977	54,749

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	159	174
未払金	1,047	1,461
リース債務	41	27
未払法人税等	1,186	624
賞与引当金	798	513
その他	986	1,518
流動負債合計	4,218	4,319
固定負債		
リース債務	17	15
退職給付に係る負債	598	598
資産除去債務	223	227
その他	91	92
固定負債合計	931	934
負債合計	5,149	5,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066	1,066
資本剰余金	1,113	1,113
利益剰余金	45,482	44,987
自己株式	△3,125	△3,125
株主資本合計	44,536	44,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	17
為替換算調整勘定	5,251	5,412
退職給付に係る調整累計額	21	23
その他の包括利益累計額合計	5,290	5,452
純資産合計	49,827	49,494
負債純資産合計	54,977	54,749

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2022年 9 月 1 日 至 2022年11月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2023年 9 月 1 日 至 2023年11月30日）
売上高	6,105	7,114
売上原価	2,455	2,667
売上総利益	3,649	4,447
販売費及び一般管理費	1,901	2,224
営業利益	1,748	2,223
営業外収益		
受取利息	21	32
為替差益	—	88
作業くず売却益	10	9
その他	5	5
営業外収益合計	36	135
営業外費用		
支払利息	0	0
シンジケートローン手数料	0	—
未稼働用地関連費用	8	8
為替差損	38	—
その他	0	0
営業外費用合計	49	9
経常利益	1,736	2,349
特別利益		
固定資産売却益	4	0
受取賠償金	60	—
特別利益合計	64	0
特別損失		
固定資産除却損	0	3
訴訟関連費用	0	—
特別損失合計	1	3
税金等調整前四半期純利益	1,799	2,347
法人税、住民税及び事業税	454	561
法人税等調整額	45	211
法人税等合計	500	773
四半期純利益	1,299	1,573
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,299	1,573

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年9月1日 至 2022年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年9月1日 至 2023年11月30日）
四半期純利益	1,299	1,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△0
為替換算調整勘定	50	161
退職給付に係る調整額	2	1
その他の包括利益合計	49	162
四半期包括利益	1,348	1,735
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,348	1,735

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	1,637	2,081	2,386	6,105	-	6,105
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	0	-	0	△0	-
計	1,637	2,081	2,386	6,105	△0	6,105
セグメント利益	476	595	677	1,748	-	1,748

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	1,945	2,520	2,648	7,114	-	7,114
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,945	2,520	2,648	7,114	-	7,114
セグメント利益	651	966	605	2,223	-	2,223

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント利益の算出方法の変更)

当社グループは、当第1四半期連結会計期間期首よりセグメント利益の算出方法を変更しております。
 変更の理由及び影響額については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明
 (セグメント利益の算出方法の変更)」をご参照ください。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。